

図書館員
おすすめ図書

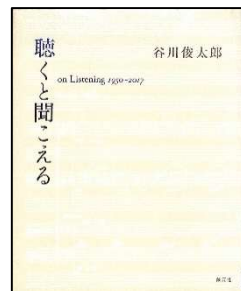
テーマ おと 音

世の中には音が
あふれています。
大きな音やひそやかな音、
心地よい音や不快な音。
本からもいろいろな音を
感じてみてください。



『聴くと聞こえる on Listening 1950-2017』

谷川 俊太郎／著 創元社



たとえば風の音のように「聞こえてくる」自然音。
耳を通して心で「聴く」音楽。耳に心に届く音を「聴く」ことで生まれた詩やエッセイは著者の内なる声であり、原点であるのかもしれませんが。

『動物たちは何を しゃべっているのか?』

山極 寿一・鈴木 俊貴／著
集英社



外へ出ると聞こえる鳥のさえずり。その鳴き方の意味とは? 動物達は様々な情報を「音」で伝えあっています。本書はシジウカラの研究者とゴリラの研究者の対談です。多ジャンルへ渡るエピソードは動物への愛情にあふれ、心が和みます。

『その扉をたたく音』

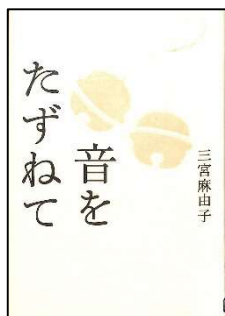
瀬尾 まいこ／著
集英社



ギターの演奏をするため老人ホームを訪問した宮地。そこで偶然聞いたサックスの演奏は、まるで神様の奏でる音楽のようでした。ミュージシャンになることができず、無職のまま過ごしていた宮路にとって、その「音」はどんなきっかけになったのでしょうか。

『音をたずねて』

三宮 麻由子／著
文藝春秋



幼いころに視力を失った著者による「音」にまつわるエッセイ。「夜空の響き」の章では、長岡まつり大花火大会を訪れた際の、花火が打ち上がる音を独特の感性で表現しています。長岡の人には恒例の花火、著者にはどのように聴こえるのでしょうか。

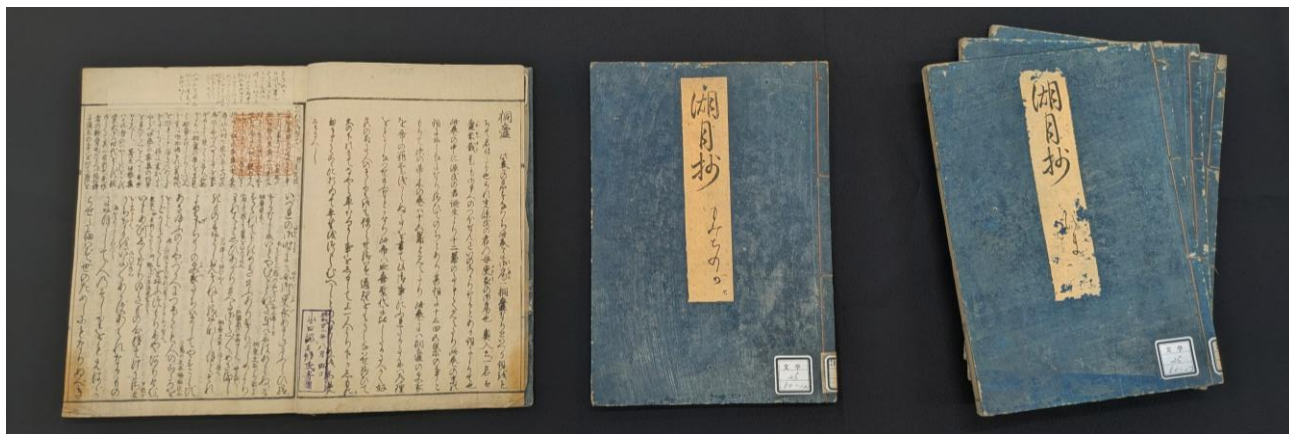
『よくわかる最新 映像サウンドデザインの 基本』

岩宮 眞一郎／著
秀和システム



テレビ番組や映画で使われるBGMや効果音、テーマ曲は、場面を盛り上げるために欠かせません。映像作品の立役者は「音」でもあります。この本では、映像作品における効果的な音の使い方について具体的に解説。読んだ後、もう一度好きな映画やドラマを観てみると、きっとひと味違う見方ができるはずです。

*このページで紹介した本は、10月～1月まで中央図書館一般コーナーに展示しています。ぜひご利用ください!



延宝三年（一六七五）刊

江戸時代に源氏物語と言えはコレ！

源氏物語は、江戸時代ではすでに650年をさかのぼる古典文学でした。光源氏をめぐって繰り広げられる壮大なストーリーは、恋愛模様だけでなく、友情と裏切り、政治と策謀、生と死など、華やかにみえる宮廷生活の影の部分へも展開しています。さらに、800首ほどの和歌が織り込まれることによって平安時代の世界観は深まりました。

本書は江戸時代に最も普及した源氏物語の注釈本です。古典学者にして歌人・俳人の北村季吟（1624～1705）が心血を注ぎ、延宝元年（1673）に全60巻もの自筆稿を完成させ、その後、延宝3年（1675）に出版されました。

湖月抄の名称の由来は、紫式部が琵琶湖のほとりの石山寺へ参詣中、湖水に映る月を見て物語をひらめき筆を起こした、という伝説によります。

1～5巻は手引き書としての役割を持ち、既存の注釈本の解説や登場人物の系図を表すなど、大作の理解を助けるための副読本と言えるでしょう。6巻からはいよいよ物語が始まり、全54帖（話）が1巻ずつの仕立てで進みます。ただし、本文のない雲隠の巻は、「雲隠説」と題し解説文のみです。

各巻の初めに「桐壺」や「帚木」など巻名の由来を置き、本文の上部と行間には細かい注釈を加えて充実した内容となっています。やや傷みはありますが、全巻揃っている点からも貴重な資料なのです。（小熊 よしみ）

☆10月1日（木）～10月25日（日）中央図書館エントランスギャラリーで展示します。

中央図書館からのお知らせ

文化講座

生活の中で輝く日本画

◆日 時 11月21日（土）午後2時～3時30分

◆講 師 浦上 義昭さん

（日本画家、上野の森美術館 日本画専任講師）

日本画の奥深い世界を、ご自身の豊富な経験を基に画材や絵画を紹介しながらお話していただきます。

◆会 場 中央図書館2階 講堂

◆定 員 先着100名 参加費無料

◆申 込 10月14日（水）9時30分～

窓口・電話・ホームページより受付

申込はこちら



くずし字講座

当館貴重資料をテキストにして1文字ずつ読んでいきます。

①第1回 北越雪譜を読んでみよう～童の雪遊び～

②第2回 江戸時代の写本を読んでみよう

～長岡城下の人命救助～

◆日 時 ①11月10日（火）10時30分～12時

②12月 1日（火）10時30分～12時

◆講 師 小熊 よしみ（当館 貴重資料解説員）

◆会 場 中央図書館2階 講座室1

◆定 員 先着 28 名 参加費無料

◆申 込 ①10月27日（火）9時30分～

②11月17日（火）9時30分～

窓口・電話・ホームページより受付

各回の申込
はこちら

①第1回



②第2回



令和8年10月1日 長岡市立中央図書館 編集・発行
〒940-0041 新潟県長岡市学校町1-2-2 TEL 0258-32-0658
mail : nagaoka@lib.city.nagaoka.niigata.jp